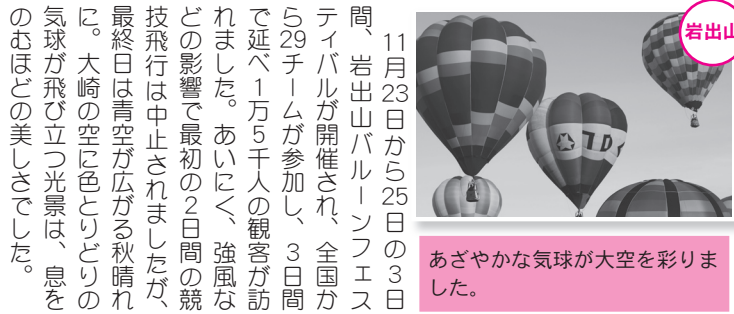


## ま ち の 話 題

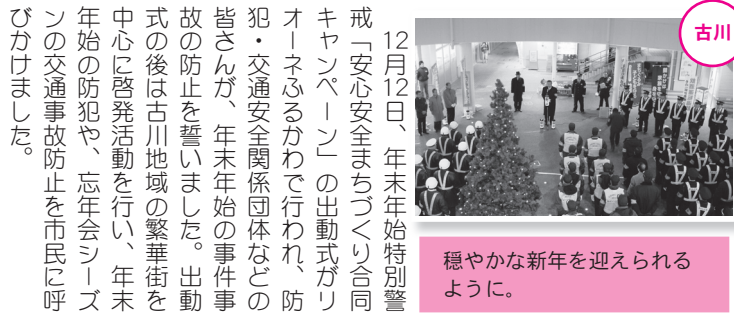
### 秋空を彩る色鮮やかな熱気球 ～第23回岩出山バルーンフェスティバル～



岩出山

あざやかな気球が天空を彩りました。

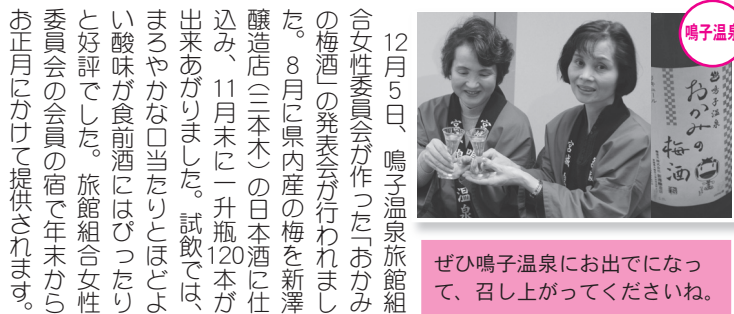
### 平穏な年末年始のために～安全安心まちづくり合同キャンペーン～



古川

穏やかな新年を迎えられるように。

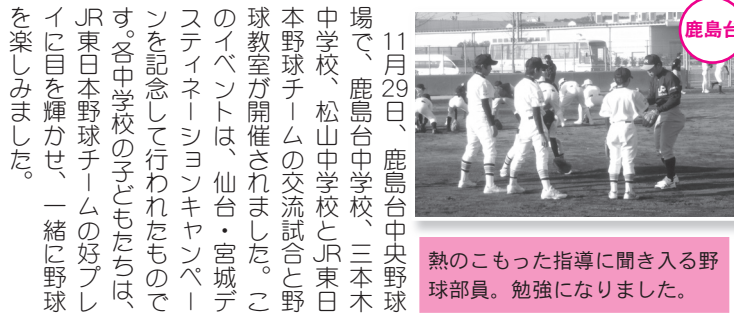
### 食前酒にぴったりね ～おかみの梅酒発表会～



鳴子温泉

ぜひ鳴子温泉にお出でになって、召し上がってくださいね。

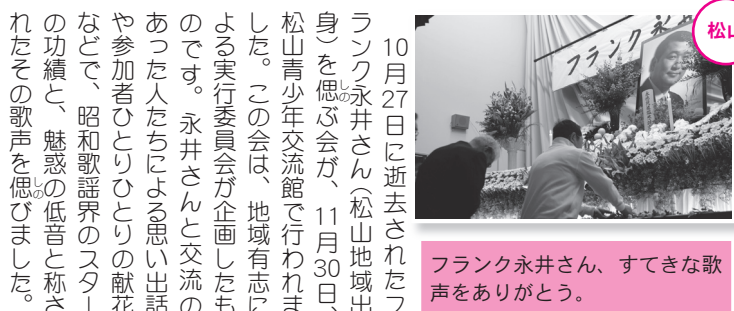
### JR 野球チームとの交流～大崎市・JR 東日本交流試合、野球教室～



鹿島台

熱のこもった指導に聞き入る野球部員。勉強になりました。

### 魅惑の低音、その歌声はいつまでも～フランク永井を偲ぶ会～



松山

フランク永井さん、すてきな歌声をありがとう。

## ニュース

### 好評です！ シナイモツゴ郷の米

絶滅の恐れのある市指定天然記念物「シナイモツゴ」が生息するため池の水を利用し、まごころを込めて栽培された安全・安心な環境保全米「シナイモツゴ郷の米」が誕生しました。

米価の下落や後継者不足、食料自給率の低下など日本の食が危ぶまれる中において、「今こそ持続性のある農業と地域の環境保全のために、あわてずじっくりと丁寧にお米を作り続けたい」という思いから、昨年初めに鹿島台地域の農家など10人で「シナイモツゴ郷の米作り手の会」が発足。秋には初めて収穫した米の販売を始めました。

新たなブランド米は、シナイモツゴのお墨付きのおいしさと安全・安心が評判になっています。

シナイモツゴ郷の米ホームページ <http://satonomai.jp/>



◀「ブランド確立のため、シナイモツゴの生息池を増やし、作付けも増やしていきたい」と次のみのに思いが膨らみます。シナイモツゴ郷の米作り手の会会長 吉田 千代志さん

問シナイモツゴ郷の米作り手の会事務局 菅井さん ☎ 56-5746

## ニュース

### 2009 ふるさとCM大賞 大崎市は映像賞を受賞

東日本放送「2008 みやぎふるさとCM大賞」に応募した大崎市の作品が、11月27日に開催された審査会で「特別賞・映像賞」を受賞しました。作品名は「幸福の黄色い郵便ポスト」。

古川地域四季彩通り商店街にある幸福の黄色いポストにスポットをあて、幸福感あふれる作品に仕上げました。四季彩通り商店街の皆さんも多数出演しています。

副賞として、大崎市のCMは東日本放送で年間30回放送されます。このCMを見た人たちが、「黄色いポストを訪れたい」そんな気持ちになってもらえたらうれしいです。

### 審査会の様子が放送されます！

1月3日(土)  
午後2時～  
KHB 東日本放送

問 市政情報課広報広聴係 ☎ 23-5091

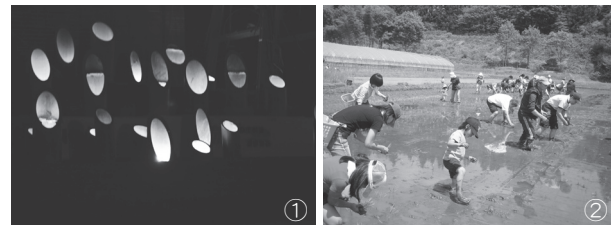


## ニュース

### 東鳴子ゆめ会議「地域づくり総務大臣表彰」を受賞

「地域づくり総務大臣表彰」は、全国各地の地域をよりよくしようと頑張っている団体、個人などを表彰し、地域づくりへの情熱や思いを高め、豊かで活力ある地域社会の構築をはかるものです。今年度の表彰団体に鳴子温泉地域のNPO法人「東鳴子ゆめ会議」が選ばれました。

東鳴子ゆめ会議は、平成15年に客足の減少に危機感を持つ東鳴子温泉の若手旅館経営者らが中心となって発足しました。「現代の湯治場づくり」をテーマに、農山村体験と湯治を融合した「田んぼ湯治」や現代アートを温泉街に呼び込んだ「GOTEN GOTEN アート湯治祭」などの斬新な街づくりを進めていることが評価されました。おめでとうございます。



①東鳴子の温泉街を竹灯ろうが優しく照らす「光の盆」  
②湯治と農業体験を組み合わせた「田んぼ湯治」

## 情報

### 登録しませんか！

### 大崎市メルマガ配信中 充実の情報が満載！

市では、携帯電話またはパソコンから登録いただいた人に、大崎市メールマガジンを週4回程度配信しています。

このサービスは、大崎市の暮らしに役立つさまざまな情報（田舎情報、物産・地場産品情報、イベント情報、不審者情報、自然災害情報など）をメールで配信するものです。

#### ■登録方法

1. osaki@psmail.jp あてに空メールを送信、または下記QRコードを読み込む。
2. 本登録用のメールが届きます。
3. 「登録窓口」から「希望する情報」「情報を希望する地域」などの必須項目を入力し、「登録」ボタンを押して完了。
4. 本登録完了後、登録者あてに登録完了メールが届きます。登録内容の確認をしてください。

問 政策課(20万都市戦略推進室)  
☎ 23-2129 FAX 23-2427  
Eメール seisaku@city.osakimiyagi.jp



## 催し

「化女沼」ラムサール条約登録記念、  
「蕪栗沼・周辺水田」ラムサール条約登録3周年記念  
～ラムサール・トライアングル「化女沼、蕪栗沼、周辺水田、伊豆沼・内沼」に集う～  
**ラムサール・フェスティバル2009**  
―国連大学仙台広域圏RCE公開シンポジウム―

昨年10月にラムサール条約湿地に登録された「化女沼」、登録から3年目を迎えた「蕪栗沼・周辺水田」、そして、その北側にある登米・栗原市の「伊豆沼・内沼」の3つの条約湿地を結ぶ「雁(がん)の里三角地帯-ラムサール・トライアングル-」ができました。3つのラムサール登録湿地を持つこの一帯は、水田と自然湿地を面的につなぐことのできる極めてまれな地域として注目されています。

これらの「地域の宝」を未来につないでいくため**ラムサール・フェスティバル2009**を開催します。3つの湿地と周辺水田の豊かさ、保全・賢明な利用(ワイズユース)について、市民皆さんと共に理解を深めていきます。

日時 1月30日(金) 13時～、31日(土) 9時～

場所 芙蓉閣ほか

内容 基調講演 講師 アン・マクドナルド氏(30日)  
化女沼および周辺の観察会(31日早朝)など

※詳細は市ホームページをご覧ください。

問 NPO法人田んぼ ☎ 39-3212

## ニュース

### 北小塩友人ピア環境保全推進協議会が田園自然再生活動コンクールで入賞

田尻地域の北小塩友人ピア環境保全推進協議会が、農林水産省などが主催する「田園自然再生活動コンクール」で「オーライ!ニッポン賞」を受賞することが決まりました。このコンクールは、農業者、地域住民、NPO法人などが協力して、農業生産との調和を図りながら取り組んでいる自然環境の保全・再生活動の優良事例を広く紹介することを目的に実施されているもので、今年は全国から70事例の応募があり、7団体が受賞します。「北小塩友人ピア環境保全推進協議会」は、ほ場整備の際に、魚や貝類など貴重な生き物が生息する土水路の一部をそのまま残し、「北小塩友人ピアいきもの水路」と名づけ、生態系の保全活動や、都市住民との交流事業などを積極的に行っています。地域が一体となって進めてきたこれまでの活動が評価されました。



表彰式は1月16日に国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)で行われます。

◀水路での生き物探し。